令和６年度 事業報告

学校法人 加計学園
御影インターナショナルこども園
MIKAGE INTERNATIONAL KINDERGARTEN

「Be　Global ！」をコンセプトに、１歳児～５歳児の乳幼児を対象とした保育教育を行っています。

２０２４年度はイマージョン教育とモンテッソーリ教育を教育の二本柱として確立することを目標にプログラムを推進してきました。

まず、イマージョン教育については「日本語も英語も私たちのことば！」というキャッチフレーズのもと、子どもたちは両方の言語が飛び交う生活を送っています。イマージョンディレクターが各学年のレベルに合わせた新しいプログラムを準備し、幼児クラスだけではなく乳児クラスにも段階的に取り入れました。単に英語のレッスンというだけでなく、子どもたちの好奇心や探求心を満足させる楽しい時間となっており、子どもは驚くほど英語を吸収しています。

一方、２０２３年度に５歳児対象に導入したモンテッソーリ教育については対象を１歳児から５歳児までの全学年に広げ、段階的にプログラムを実施しました。子どもたちは自分で成長しようとする力を持ち、自立心も旺盛です。多くのことに挑戦したいという意欲に応えるため、乳児クラスから子どもたちが主体的に生活できるように保育室の環境を整えました。またモンテッソーリ教育ディプロマ保持者の保育士を配置し、教育保育の質の向上に努めました。年度末に実施した保護者アンケートでは全学年への導入について多くの保護者から概ね満足したとの回答をいただき、本園の教育の柱の一つとすることができました。

今後は軌道に乗り始めた二本柱のプログラムをさらに充実させ、縦割りクラスでの保育（異年齢保育）の導入により乳幼児期から多様性のある環境で過ごす機会を増やしていく予定です。

今年度の重点的な取り組み

① 安心、安全かつ衛生的な保育環境の整備

1 階の絨毯敷きのホール床をフローリング化し、より衛生的な環境を確保しました。また園庭に天然芝を敷設し、園児が転倒しても安全な環境に整備しました。

② 教員研修の充実

オンラインによる保育士や管理者向けの講座の受講を始めました。また連携している茅渟の浦学園の協力を得て発達支援の専門家よりアドバイスを受けることが可能になり、特性の強い子どもたちへの接し方について保育士が多くを学ぶ機会を得ました。

③ 事務処理の簡素化

幼稚園向けの総合管理ソフトの「コドモン」の機能を最大限に活用することで保育料や諸費用の請求・入金管理業務を徹底的に省力化し、また保護者とのコミュニケーションのツールとして連絡帳に代わってドキュメンテーション機能を使用したことにより園全体での事務作業の効率化が実現しました。

④ 園児募集活動の強化

従来はホームページや紙媒体での広報活動を行っていましたが、さらに効果的な募集活動として新たにWeb広告による広報活動を実施しました。入園説明会にタイミングを合わせたWeb広告の配信によりホームページのアクセス数や毎月の園見学、園庭開放の来訪者も増加し、認知度は確実にアップしました。今後は引き続きWeb広告の配信のタイミングを増やし、積極的な広報活動を展開する予定です。

御影インターナショナルこども園　園長　澤井　育子

Ⅰ．教育・研究の推進について

１．保育教育環境の整備、危機管理に関する目標

質の高い保育を行う認可外保育施設として、認可施設と遜色のない安全・安心かつ衛生的な保育教育環境を提供する。

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【1】夏の暑さ対策に関する計画 夏季の酷暑の中でも、プール遊びなど園庭での遊びを安全に楽しく実施できる環境に改善するため、2022 年度に、園庭に遮光ネットを設置する。	実施済	実施済	A
【2】アレルギー対策に関する計画 衛生環境を改善するため、アレルギーの要因にもなる各教室・ホール床のタイルカーペットを、フローリングに改修する。併せて給食委託業者と協議して、アレルギー対応の食事の改善と、保育士への指導を実施する。	①フローリング化工事について、1 階ホールを実施する。	①実施済	A
	②アレルギー対応の食事改善については、令和６年度より給食委託業者が変更になるため、新しい管理栄養士と改善計画案を再作成し、給食会議や職員研修を通じて指導を実施する。	②新しい管理栄養士とアレルギー対応が必要な園児情報を共有し、給食会議や職員会議で個別対応の協議を重ね、安全な給食を提供した。	B

Ⅱ．園児の支援について

１．ＭＩＫ教育プログラムの充実に関する中期目標

MIK プログラムを実施してこどもの可能性を広げる教育を行うこども園を目指していたが、他園との差別化を図るため世界中で周知され行われている「モンテッソーリ教育プログラム」に移行する。

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【3】外部講師を招聘した教室の点検、評価に関する計画 絵画造形、体育あそび、ダンス[新設]、論語の各教室の自己点検・評価を行い、その結果に基づき開講教室、内容を再編する。	○外部講師の意見も聞いて、各教室の自己点検・評価を継続して行う。	○年度末に保護者アンケートの結果や職員会議での評価を参考に次年度の継続、実施回数の頻度や対象学年の変更などを決定した。	A
	①楽器遊び、リトミックは、クラス担任が日常の保育プログラムの中で指導するが、乳児についてはリトミックの専門性を持つ保育士が日常的に実施する。	①楽器遊び、リトミックは専門性の高い保育士が乳児に対し日常的に実施し、園児の反応も良かった。	A
	②2023 年度途中から開始した外部のダンス講師によるダンスは園児にも人気があり、成果を発表会などで披露できるよう引き続き実施する。	②ダンス講師による活動を幼児だけでなく乳児に対しても実施した。成果を発表する機会はなかったが、次年度はその機会を年間予定にあらかじめ組み込むことを決めた。	B
【4】楽しい PC・プログラミングのお稽古開設に関する計画 岡山理科大学ブランドを活かした楽しいＰＣ・プログラミングのお稽古の 2025 年度開設を目指す。保護者のニーズ調査等により、時代と保護者のニーズを見極め、対象年齢、指導者、環境整備、プログラミング能力の到達度の設定など、具体的な構想案を策定する。	○コドモンのオプション機能であるアンケート機能を利用し、毎年、上期、下期の年に２回保護者ニーズを調査する。	○年度末にアンケートを実施し、課外活動の希望やイマージョン教育やモンテッソーリ教育への理解度などを把握した。	B
	①岡山理科大学の恐竜学博物館提供のペーパークラフトを園児に配布する。	①4 月には提供いただいた恐竜のペーパークラフトを配布し、好評だった。	A
	②岡山理科大に協力を依頼し、園児に人気のある恐竜について園児だけではなく地域の小学生も対象にしたイベントを開催する。	②岡山理科大学の科学ボランティアの協力を得て 9 月にサイエンスショーを開催した。幼児も乳児も参加し、大好評であった。次年度も違う内容でショーの開催を依頼することにしている。	S

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【4-2】モンテッソーリ教育の導入に関する計画 こどもの可能性を広げる保育教育として、新たにモンテッソーリ教育を 2024 年度から正式に導入する。子どもにはモンテッソーリ環境を用意し、多様性のある子ども社会の準備を行う。	○2024 年度は３歳児、４歳児も対象とし、また乳児（１，２歳）用のモンテッソーリ環境を徐々に整え、全体的に拡充していく。	○年度当初より段階的に３歳児、4 歳児だけでなく乳児にもモンテッソーリ教育を実施した。	A
	○幼児クラスは、モンテッソーリクラスの保育室を広げ、３歳から５歳までが自由に利用できるように教具なども充実させる。	○幼児クラスは、モンテッソーリクラスの保育室を拡張し、すべての幼児が利用できるよう教具や環境を整えた。	A
	○2024 年度については、年齢別による横割りクラスのほかに縦割り（異年齢）クラスで過ごす時間帯を増やし、異年齢交流を促進する。	○縦割り（異年齢）クラスで過ごす時間を徐々に増やして次年度から縦割りの時間帯を更に増やせるようクラス編成の変更を決めた。	B

２．質向上によるブランド力強化に関する中期目標

入園先の選択において重要となる保育士の教育力・保育力を積極的な研修制度により向上させるとともに、英語イマージョンプログラムの価値向上により、こども園のブランド力向上を目指す。

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【5】保育士研修の充実に関する計画 ①園内研修、外部研修への参加義務を課す。 ②保育士、幼稚園教諭のW取得を推奨する。 ③自己研鑽への支援制度の創設を３年以内に整備する。	①2024 年度はすでに利用している保育施設向け IT サービス「コドモン」の提供するコドモンカレッジの研修動画を最大限活用し、保育士や園長向けの講座を受講することで全員に園内研修を実施する。	①コドモンカレッジの研修動画の利用は一部職員に限定されたので、今後はすべての職員が時間的な制約のないオンライン研修を積極的に受講するよう推奨し、特に法人が提供している研修について職員会議で紹介した。	C
	②資格未取得の職員に対して積極的に資格取得を促す。	②資格取得を促し、受験したが不合格となったため、引き続き当該職員には取得を促す。	D
	③子育て支援員研修やその他幅広い分野の研修を受講できるよう制度を 2024 年度中に整える。	③子育て支援研修の受講はなかったが、年度途中から隣接する茅渟の浦学園の協力で発達支援の専門家より主に幼児担当の保育士対象に指導を受けることになり、次年度も続行することを決めた。	C
【6】英語イマージョンプログラムにかかる保護者ニーズ調査に関する計画 保護者の満足度、ニーズを調査する。	○新規に２名の外国人を採用し４月からイマージョン教育の強化を図る。年度途中にその効果などを確認するためコドモンのアンケート機能を活用した満足度調査を実施し、保護者の満足度、ニーズを調査する。	○２名の専任外国人を採用したが、1 名が退職したため、他の外国人職員の協力で乳児へのイマージョン教育も開始し、全体的な質を維持した。またコドモンのアンケートの回答ではイマージョン教育について保護者の理解度がまだ十分ではないことが判明し、次年度のプログラムを改善し、より理解が得られるよう定期的に実施内容を配信することを決めた。	C

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【7】外国人教員の活性化に関する計画 外国人教員の園内研修強化、外部研修への参加、モデル校視察等で明確な目標設定を行う。	○イマージョン教育の MIK スタイルを確立するため外国人教員の能力向上を目指し、2024 年度用に準備しているイマージョンディレクターによる新プログラムについて園内での研修を定期的に実施。さらに外部の研修への積極的な参加等も促し、今後に向けての目標案を作成する。	○イマージョンディレクターが外部研修に参加し、園内ミーティングでイマージョンティーチャーと情報を共有し、一貫性のある指導スタイルを確立できるよう準備を進めた。新プログラムが確実に実行できるよう詳細な目標をイマージョンディレクターが設定し、イマ―ジョンティーチャーに指示した。	C
【8】イマージョンプログラムの改定に関する計画 2023 年度を目途に目標の再設定、保育士（日本人）とのコラボ案を策定する。	○新しいイマージョンプログラムを４月から開始するので達成目標を再設定し、年度末には達成度を評価する。	○各クラスの目標達成度を評価できるよう状況報告用の様式を準備したが、全クラスに対して徹底できなかった。今後は各イマージョンティーチャーのプログラムの進捗度を把握できるような報告様式を作成した。	C
	○2024 年度は外部講師によるダンスやアートなどの活動を極力午後に実施し、午前中に少しでも長く英語に触れる機会を増やすため２～３ブロック（１ブロック 30～45 分）のレッスンを用意し、午前中は日本人保育士も英語で話すようにする。	○課外活動はすべて午後に集約できたので英語に触れる機会を増やすよう努めたが、3 歳児を中心にレッスンに集中できない園児があり、全クラスで予定通り推進することができず、課題が残った。日本人保育士の英語使用の機会は十分ではなく、今後はイマージョンティーチャーとの共同作業によるレッスンを実施することで英語使用の機会を増やすことにした。	C

Ⅲ．国際化の推進について

１．質向上によるブランド力強化に関する中期目標《再掲》

➔ 英語イマージョンプログラムのブラシュアップに関する中期目標

英語イマージョンプログラムの価値向上により、こども園選択の際の差別化要素まで引き上げる。

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【6】英語イマージョンプログラムにかかる保護者ニーズ調査に関する計画《再掲》 保護者の満足度、ニーズを調査する。	○新規に２名の外国人を採用し、４月からイマージョン教育の強化を図る。年度途中にその効果などを確認するため園児管理ソフトのコドモンのアンケート機能を活用した満足度調査を実施し、保護者の満足度、ニーズを調査する。	○２名の専任外国人を採用したが、1 名が退職したため、他の外国人職員の協力で乳児へのイマージョン教育も開始し、全体的な質を維持した。またコドモンのアンケートの回答ではイマージョン教育について保護者の理解度がまだ十分ではないことが判明し、次年度のプログラムを改善し、より理解が得られるよう定期的に実施内容を配信することを決めた。	C

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【7】外国人教員の活性化に関する計画《再掲》 外国人教員の園内研修強化、外部研修への参加、モデル校視察等で明確な目標設定を行う。	○イマージョン教育の MIK スタイルを確立するため外国人教員の能力向上を目指し、2024 年度用に準備しているイマージョンディレクターによる新プログラムについて園内での研修を定期的に実施。さらに外部の研修への積極的な参加等も促し、今後に向けての目標案を作成する。	○イマージョンディレクターが外部研修に参加し、園内ミーティングでイマージョンティーチャーと情報を共有し、一貫性のある指導スタイルを確立できるよう準備を進めた。新プログラムが確実に実行できるよう詳細な目標をイマージョンディレクターが設定し、イマージョンティーチャーに指示した。	C
【8】イマージョンプログラムの改定に関する計画《再掲》 2023 年度を目途に目標の再設定、保育士（日本人）とのコラボ案を策定する。	○新しいイマージョンプログラムを４月から開始するので達成目標を再設定し、年度末には達成度を評価する。	○各クラスの目標達成度を評価できるよう状況報告用の様式を準備したが、全クラスに対して徹底できなかった。今後は各イマージョンティーチャーのプログラムの進捗度を把握できるような報告様式を作成した。	C
	○2024 年度は外部講師によるダンスやアートなどの活動を極力午後に実施し、午前中に少しでも長く英語に触れる機会を増やすため２～３ブロック（１ブロック 30～45 分）のレッスンを用意し、午前中は日本人保育士も英語で話すようにする。	○課外活動はすべて午後に集約できたので英語に触れる機会を増やすよう努めたが、3 歳児を中心にレッスンに集中できない園児があり、全クラスで予定通り推進することができず、課題が残った。日本人保育士の英語使用の機会は十分ではなく、今後はイマージョンティーチャーとの共同作業によるレッスンを実施することで英語使用の機会を増やすことにした。	C

Ⅳ．ＤＸの推進について

１．業務の効率化に関する中期目標

業務の効率化を図ることで事務処理の省力化を図り、事務職員が働き易い環境を目指す。

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【9】ＷＥＢ請求への切り替えに関する計画 2023 年度から保育料等の各種支払い請求をＷＥＢ化する。紙による請求を原則禁止し、封入作業等の労力、時間削減を図る。	○ＷＥＢ請求への切り替えについては園児管理ソフトのコドモンのオプション機能を活用して電子請求書を発行し配信することで、保育料請求業務を簡素化していく。	○ＷＥＢ請求への切り替えにより保育料の請求、入金確認など管理作業が簡素化され、事務の効率化が実現した。	A
	○連絡帳を廃止し、コドモンのドキュメンテーション機能を活用。配信による　保護者との情報共有を推進し保育士による事務処理も省力化する。	○連絡帳に代わるコドモンのドキュメンテーション機能による保護者との情報共有スタイルが定着し、保育士の事務作業の省力化が実現したと同時に保護者にも利用しやすいと好評を得た。	A

Ⅴ．ガバナンス体制と内部質保証システムについて

１．御影インターナショナルこども園の新展開の方向性に関する中期目標

園の形態を変えることで公的助成を受けられる組織に改変し、安定した財政基盤の確立を目指す。

達成が困難と判断した場合は、存在感があり、募集力の安定した認可外こども園を目指す。

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【10】神戸市、有識者等への意見聴取に関する計画 2022 年度中に、財政基盤の確立の観点からメリット･デメリットを洗い出す。	実施済	実施済	A
【10-2】御影小規模保育ルームに関する計画 認可施設「御影小規模保育ルーム」事業の継続の可否を検討する。	実施済	実施済	A
【11】新展開実現へのプロセス決定に関する計画 2024 年度を目途に、具体的な計画を策定する。	○こども園の新たな方向性として、イマージョン教育とモンテッソーリ教育を園の特徴の２本柱とすることを最大の目標とし、イマージョン教育については内容を強化し MIK スタイルを確立、モンテッソーリ教育については対象を乳児にも広げ段階的に充実を図る。	○4 月からイマージョン教育とモンテッソーリ教育を園の特徴の２本柱にするため、イマージョン教育については新プログラムを準備して内容を強化したが､3 歳児については予定通りのプログラム実施が難しく、課題が残った。一方、モンテッソーリ教育については全学年に対象を広げ、プログラムを推進した結果、全体に定着し、保護者から概ね好評を得た。	C
【12】学童保育の再開など新規事業のニーズ調査に関する計画 ①関係機関､関係者へのヒアリングを実施する。 ②2024 年度を目途に､具体的な計画を策定する。	○小規模保育ルーム廃止に伴い、こども園の園舎を利用した新規ニーズを調査する。	○新規ニーズを把握するためコドモンのアンケート機能で保護者の希望を調査した。	A
	①保護者に週末や休園日を利用した希望する課外活動、講演などについてアンケートを実施する。	①保護者アンケート実施の結果、ピアノ、ダンス、サッカー等、様々な要望があり、実施可能な活動、講師の選定や実施時間などを検討した。	A
	②上記のアンケート結果に基づき、実施可能な活動については講師や活動内容等の情報を収集し、2025 年度から実施可能な活動があれば具体案を 2024 年度中にまとめる。	②年度末に実施可能な活動の絞り込みを行い、次年度途中からスタートできるよう各活動の講師との交渉を開始した。	A

２．質保証に関する中期目標

将来、スタッフが変わっても、園の運営と保育力を担保し、質保証できる組織を目指す。

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【13】基本データの整理に関する目標 ①2024年度を目標に、散逸しかねない各種データを集約、整理し、１０年史[データ編]を製作する。 ②溜まる一方の文書の管理(保管/電子化、廃棄)を行う。	○文書だけでなく電子データについても整理する。	○サーバーの老朽化で機器を更新した際、サーバー内のデータを整理した。	A
	①１０年史についてはＨＰ内で園の過去１０年のイベント等の様子を掲載し、園の歴史を紹介する。	①１０年を記念するイベントは実施しなかったが、過去からのイベントは引き続きＨＰで紹介、さらに日々の活動をインスタグラム等で発信することで園の新たな歴史を紹介している。	B
	②保存年限を過ぎた文書を処分し、サーバー内の電子データについても整理する。	②保存年限を過ぎた文書を溶解処分した。また電子データはサーバーの機器更新の際に整理した。	B

３．安定した財政基盤の構築に関する中期目標

少子化の中においても、安定した運営ができる組織を目指す。

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【14】収支改善に関する計画 ①段階的に定員確保を達成する。 ②収支バランスの適正化を図るため、保育料収入の増加策と人件費抑制策を実行する。	①園児獲得のために広報活動を強化すると同時に、定員の見直しについても検討する。	①Web 広告による広報活動を新たに実施した。入園者数の増加は実現できなかったが、見学の来園者は大幅に増加し、認知度アップには効果があった。定員数の見直しは実施しなかった。	C
	②保育料値上げや施設設備費の追加徴収を実施し、幼児クラスは専門性の高い専任の外国人を採用し、乳児クラスはパート職員も活用して園児数に応じた人員を配置する。	②保育料値上げ、施設設備費の追加徴収を予定通り実施した。幼児クラスは専門性の高い専任の外国人を採用した。園児数は前年度に比べ減少したが、パート職員の配置数の調整により収支の極端な悪化は回避できた。	C
【10-2】御影小規模保育ルームに関する計画 《再掲》認可施設「御影小規模保育ルーム」事業の継続の可否を検討する。	実施済	実施済	A

中期計画	令和６年度　事業計画	令和６年度　事業報告	評価
【15】園児募集活動の強化に関する計画 ①インターネットを活用した広報活動の展開 ②ホームページのリニューアル ③広報刊行物の見直し	○2023 年度に展開した折り込み広告や駅の看板広告、折込チラシ、ポスティング、Web 広告等による広報活動の中で、特に効果が認められたホームページと連動したインターネット上の広告について 2024 年度は頻度を高め、対象エリアを拡大し、効果的なタイミングで継続実施していく。	○Web 広告を中心に広報活動を展開した。ホームページと連動した活動でアクセス数の把握も容易になり、園見学者も大幅に増加した。残念ながら園児の増加にはつながらなかったが、認知度は確実にアップしたので、今後は今年度のアクセス実績を参考に引き続き Web 広告の発信のタイミングや頻度を調整しながら効果的な広報活動を実施する。	B
	①園庭開放や見学会等、行事に連動した Web 広告の回数を増やす。	①園庭開放、見学会は Web 広告やホームページで予定を掲載して毎月実施した。広告配信期間は入園説明会前に集中的に実施した。	B
	②乳児へのモンテッソーリ教育を開始するためホームページの一部をリニューアルし、最新の園の様子を紹介できるよう毎月更新する。	②ホームページの部分的なリニューアルに加え、新たにインスタグラムでの配信を積極的に行い、日常的に最新の様子を紹介した。	B
	③刊行物ではなくデジタルパンフレットや 2023 年度途中から開始したインスタグラムも活用し園児の生き生きとした表情や明るく広い園庭の良さをアピールする。	③デジタルパンフレットをリニューアルし、冊子によるパンフレットは廃止した。パンフレットを最新の内容に容易に更新できるため、今後も園の活動の様子をわかりやすく紹介できるようデジタルパンフレットの充実を図る。	B

主な行事

主な行事予定	
４月	入園の会 進級式 こいのぼり揚げ クラス懇談
５月	春の遠足
６月	スポーツデー
７月	水遊び お泊り保育
８月	入園説明会
９月	入園申込・選考
10 月	ハロウィンパーティー
11 月	消防訓練 七五三詣り 秋の遠足
12 月	みんなの発表会 クリスマス会
１月	初詣 交通安全教室
２月	豆まき お別れ会・お別れ遠足
３月	卒園式

児童・教職員数

■在籍児童数（５月１日現在）

御影インターナショナルこども園

クラス名	収容定員	在籍児童数
１歳児	１２	８
２歳児	１８	１１
３歳児	３０	１８
４歳児	３０	１２
５歳児	３０	１７
合計	１２０	６６

■教職員数

園長	副園長	英語教員	保育士	事務職員	計
１	０	５	６	２	１４

（注）保育士には子育て支援員１人を含む。